

慶雲寺報

NEWS

* 年始法要が営まれました

《新年御札祈祷》お檀家各家の室内安全・心願成就を祈念し御札祈祷。翌4日よりお年始回り。

三ヶ日

昨年のお札を菩提寺へ納め、本尊様へご年始の法要。1月16日開催。参列の皆様は「大般若経」の法風をお分けいたしました。

御札納め

* 大本山總持寺 報恩授戒会（じゅかいえ）

毎年4月ご本山で行われる、禪師さまとご縁を結び【生前戒名】を頂戴する法要です。

没後に頂くばかりが戒名ではなく、命あるうちに教えに帰依し、頂いた【生前戒名】を礎としながら、自分の人生を教えに沿って積み重ねていくことが本来の姿であります。

ご自身の人生の指針とすべく、この授戒会にご参加されることを願い、ご案内申し上げます。

日程 4月10日～16日

（最低限、後半の3泊4日）

費用 40,000円

詳しくは、住職へ問い合わせ下さい

☆こんな時どうすれば？☆

今回のテーマは お焼香の作法 です

ご法事の折、またお葬式のご弔問に訪れた際、抹香に思いを込めてお供えする場面がございます。

まずは合掌礼拝

お参りする対象（ご本尊・お位牌等）へ眼差しを配りながら、手を合わせ一礼いたします。腕を体の両側に付けてのお辞儀の姿ではなく、お香を供える対象に敬いの心をもって合掌の姿で向き合います。

右手でお香をつまむ

右手をお香に伸ばし、親指・人差し指・中指の三指で適量のお香をつまみます。左手は、右手に添えるような形で、お香を押しいただく姿が良いでしょう。

基本の回数は2回

曹洞宗では主香（しゅこう）と従香（じゅうこう）という考え方があり、1度目のお供えを主香といい、額の前で思いを込めてからお供えします。

2度目は従香といい、お香が途絶えないようにとの気遣いの位置づけです。よって、額の前で念ずることなくそのまま香炉に焚きます。

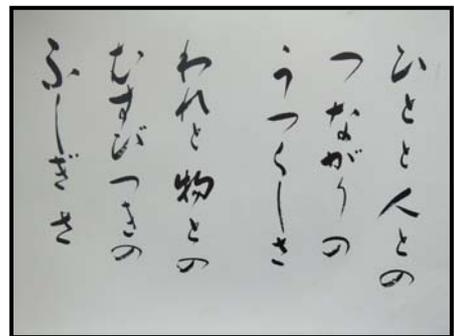
引き続きお焼香する方がいる場合、お香が途絶える心配はありませんので、従香を略し、主香のみ1回のお焼香でも結構です。

最後にも合掌礼拝

思いが届くよう対象に眼差しを配りながら、合掌の姿で一礼をいたします。

◎伝道揭示板から

「我達人」（がほうじん）我、人と逢うなり、大本山總持寺の江川禪師さまが座右の銘とされている言葉です。まだ禪師さまになられる前、私の



修行僧時代におそば付きをしたことがありますが、人と人との出逢いを大切になさるとても温厚なご老師でございました。

禅師さまが大切にされている 出逢い。人と人、物と物、人との出逢いからは、新たなものが生まれてきます。自分一人で考え、自分の力だけでは到底及ばなかったことが、つながり・結びつきの力によって、達成されることもしばしばです。出逢いは自分自身を広く深く成長させてもらうキッカケともなるでしょう。

目に見えるつながりはもちろん、見えないつながりや不思議なむすびつきを感じる事が出来れば、自ずと謙虚な心持ちになるはず。あなたは今日、何人の人と巡り合ったでしょうか？あなたは今日、幾つもの物を手にしたでしょうか？その一つひとつのご縁に感謝！

平成二十七年 度護持会決算

別紙決算書の通り、2月6日開催の役員会にて承認されました。ご報告申し上げます。平成二十八年 度会費につきましても、3月末日までに納入をお願いします。